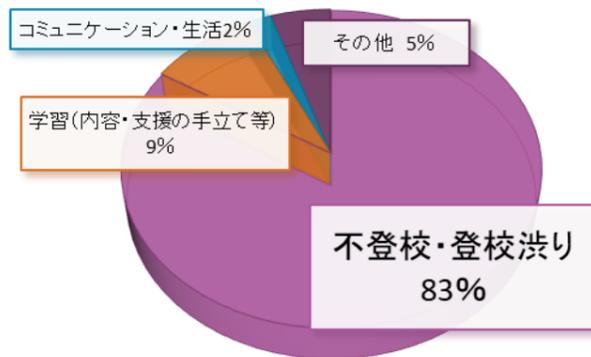


地域支援センター「サポートJOYO」

～不登校、不適應の支援を中心に～



「サポートJOYO」への相談内訳 (2021)

本センターでは、発達障害等を背景とする不登校や心理的課題に対する相談支援に力を入れてきました。相談総数の半数以上が不登校であり、そのほとんどが発達障害の二次障害です。

病弱教育部をはじめとする本校の専門性を生かし、隣接する南京都病院等の医療との日常的な繋がりのもと、学校や関係機関と連携しながら、子どもや保護者の思いを大切に、より良い支援の方法を相談しています。

病弱通級指導教室

病弱及び身体虚弱（不登校）の児童生徒を対象とした通級指導教室です。本校の校医（小児科医、精神科医）による診察等を受け、「本校の通級による指導が適切である」と判断された児童生徒が対象です。この教室をステップにして、地域で元気に生活が送れることをねらいとしています。



JOYOSIENGAKKOU

School Guide

京都府立

城陽支援学校 

学校案内



重心教育部「ほっと」 

病弱教育部「きっと」 

高等部ビジネス総合科 



教育部間の共同学習



授業の様子（生活単元学習 プレゼントづくり）



授業の様子（自立活動）



学校祭

重心教育部～ほっと～

対象 —— 東京都病院に入院している重症心身障害の児童生徒（小・中・高）

学習 —— 「自立活動」と「遊びの指導」「生活単元学習」が中心

特徴 —— 医療との連携の中で一人一人のニーズに応じた教育



調べ学習



ALT授業



授業風景（理科）



自立活動

病弱教育部～きつと

対象 —— 東京都病院に入院している児童生徒（小・中）

学習 —— 小・中学校に準ずる教育課程

特徴 —— 病気による学習空白をうめ、学力充実のためのきめ細やかな指導



修学旅行

教育目標

「いのち輝かせ、こころ豊かに生きる力を育む」



学校祭に向けて3教育部で力を合わせて作成したハートのオブジェ

一人一人の願いの実現のために

「重心教育部～ほっと～」は「毎日を快く力いっぱい生きる」という願いを大切に、東京都病院小児科医師をはじめ、病棟等と連携して教育活動の充実を図っています。

「病弱教育部～きつと～」は「学びながら病気を治したい」という願いに応え、病院、前籍校、家庭と協力しながら学習と治療の両立を目指しています。

「高等部～ビジネス総合科～」は「働きたい」という願いの実現に向けて、職業教育としての専門教科をはじめ、地域や企業等での実習をとおして社会とのつながりを実感しながら体験的かつ具体的な学習を行っています。また、卒業後も企業や関係各機関等と協力してサポートをしています。

それぞれ学びのスタイルは違いますが、「将来、幸せかつこころ豊かに生きてほしい」という願いを実現するために、今育みたい力を見据えて日々の授業を大切に積み重ねています。



専門教科「工業（木工）」



国語科「まとめたことを発表しよう」

高等部 ～ビジネス総合科～



対象 —— 山城教育局管内に居住の中学校・中学部を卒業した軽度の知的障害の生徒

学習 —— 工業や流通・サービス等の専門教科及び各教科の学習、地域や企業等での実習

特徴 —— 職業教育の充実により、自立し地域や社会の発展に貢献することを目指す



専門教科「流通・サービス（販売）」



専門教科「流通・サービス（ピクリクリーニング）」



富士高分子（株）様での現場実習（2年）



アル・プラザ城陽での販売実習（2年）



身だしなみ講座（3年生）



専門教科「工業（縫製）」



専門教科「工業（窯業）」



奈良県への校外学習（2年）